



◆ 自宅にWi-Fi環境をつくる3つの方法、そのメリット・デメリットは？

前号で、自宅にWi-Fi環境をつくる3つの方法を紹介しました。次の通りです。

- ①「モバイルWi-Fiルーター」を使うこと
- ②「据え置き型Wi-Fiルーター」を設置すること
- ③「光回線」を引き込み「Wi-Fiルーター」を設置すること

※ ①を「モバイルルーター」、②を「ホームルーター」と呼ぶことがあります。

◆ 3つの方法の主なメリット・デメリット

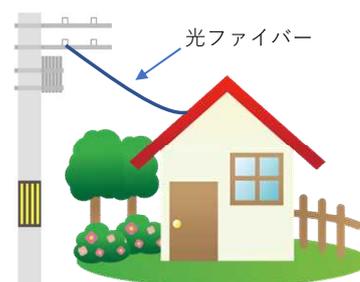
Wi-Fi環境	メリット	デメリット
①モバイルWi-Fiルーター (モバイルルーター)	<ul style="list-style-type: none"> ・小型(手のひらサイズ)で外出先に持ち運べる ・工事不要ですぐに使える ・短期間のレンタルもできる 	<ul style="list-style-type: none"> ・充電が切れると使えなくなる ・大人数で使うと速度が出ない
②据え置き型Wi-Fiルーター (ホームルーター)	<ul style="list-style-type: none"> ・モバイルルーターより速度が出やすい ・家族全員が使っても速度が落ちにくい ・工事不要ですぐに使える ・コンセントにつなぐだけ、配線は不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出先では使えない
③光回線とWi-Fiルーター	<ul style="list-style-type: none"> ・速度が速い ・速度が安定している ・データ無制限 	<ul style="list-style-type: none"> ・開通工事が必要 ・自宅でしか使えない



- ① モバイルWi-Fiルーター
- ・基地局の電波を利用する
 - ・バッテリー駆動のため、持ち運びが可能である



- ② 据え置き型Wi-Fiルーター
- ・基地局の電波を利用するため、配線がいらぬ
 - ・コンセントにつないで使用する



- ③ 光回線とWi-Fiルーター
- ・光ファイバーを利用するため、工事が必要になる
 - ・室内の配線も必要になる

料金も気になるところです。3つの方法の料金を比較してみると、①がいちばん安く、③がいちばん高い、②は①と③の間くらいでした。料金が安くても、サービスが悪くては困ります。特に、速度が遅かったり、利用できるデータ量が少なかったりするものは使いにくいと思います。利用している人に聞いてみたり、ネット上でのレビューを調べたりするといいでしょう。また、携帯電話やスマートフォンとセットで割引する料金プランなどもあるので、契約している通信事業者にお問い合わせみるのもいいでしょう。